

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	子どもと手作り遊び						授業形態	講義	
科目コード	750046	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	園田 博一								
授業概要	<p>児童期の造形表現の特質を理解し、豊かな表現を援助するために、指導者に必要とされる基本的な知識や技能を具体的な作品制作を通して学ぶ。バス類、アクリル絵の具、版画財、紙粘土などの表現素材を使い、それらの特性を生かした造形表現の楽しさを学ぶ。その体験から子どもに対する援助力を高める。特にコラージュ技法に取り組み、教育現場に生かせるように技法の習熟を図る。現場で自身の様々な対応能力が発揮できるようスキルを身に着けるために自主性ある演習として捉えたい。</p>								
関連する科目	保育内容指導法（造形表現） 教科教育法（図画工作）								
授業の進め方 と方法	この科目は制作実習を中心として行われる。教育現場で実際に役立つノウハウを取得する。実習の中で感性や感覚を体験する。テーマ決定、アイデアスケッチ、着色、コラージュ技法などの一連の流れを体験できる。制作過程を身に着けたい。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 演習授業について（道具、服装など）								
授業計画 【第2回】	子どもの遊びについて 歴史的背景								
授業計画 【第3回】	昔の遊びから 自分の体験を引き出そう（レポート）								
授業計画 【第4回】	素材を生かして作ろう（紙素材）								
授業計画 【第5回】	素材を生かして作ろう（段ボール）								
授業計画 【第6回】	素材を生かして作ろう（竹素材）								
授業計画 【第7回】	作って遊べる玩具制作① オリジナルを作ろう								
授業計画 【第8回】	作って遊べる玩具制作② 作ってあそぼう								
授業計画 【第9回】	作って遊べる玩具制作③ 自己制作								
授業計画 【第10回】	作って遊べる玩具制作④ 自己制作								
授業計画 【第11回】	作って遊べる玩具制作⑤ 他の人のものを見学しよう。								

授業計画【第12回】	作って遊べる玩具制作⑥ 他の人のものを見学しよう。
授業計画【第13回】	作って遊べる玩具制作⑦ オリジナルな作品に仕上げよう。
授業計画【第14回】	作って遊べる玩具制作⑧ オリジナルな作品に仕上げよう。
授業計画【第15回】	作って遊べる玩具制作（まとめ、レポート課題制作）
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の造形表現の理解と、指導上の観察力と援助力を身に着ける。 ・演習を通して発想力、創作力を高め、授業現場で子どもの理解と指導力の向上を図る。 ・イメージから実際の作品に具体化していくことで、教育現場で身に着けた力を発揮できる技術を磨く。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修【予習】	遊びについて思い出そう。経験したことをまとめておこう。
授業時間外の学修【復習】	学修した様々な要素を次作に生かそう。
課題に対するフィードバック	アイデアスケッチからの取り組みの流れを重視する。グループ制作では個人の参加の在り方を実践評価とし個人評価に組み込む。
評価方法・基準	実技課題への取り組み、課題提出の評価、レポートや提出物の採点によって評価 授業中の参加態度40%、提出課題30%、実践レポート30%とする。
テキスト	すべての感覚を駆使してわかる乳幼児の造形表現 平田智久 小野和 編著 保育出版社：1905円
参考書	<p>参考資料は抜粋要約してプリントを配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園教育要領』：文部科学省 『保育所保育指針』：厚生労働省 ・小学校学習指導要領解説 図画工作編：文部科学省 100円
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）